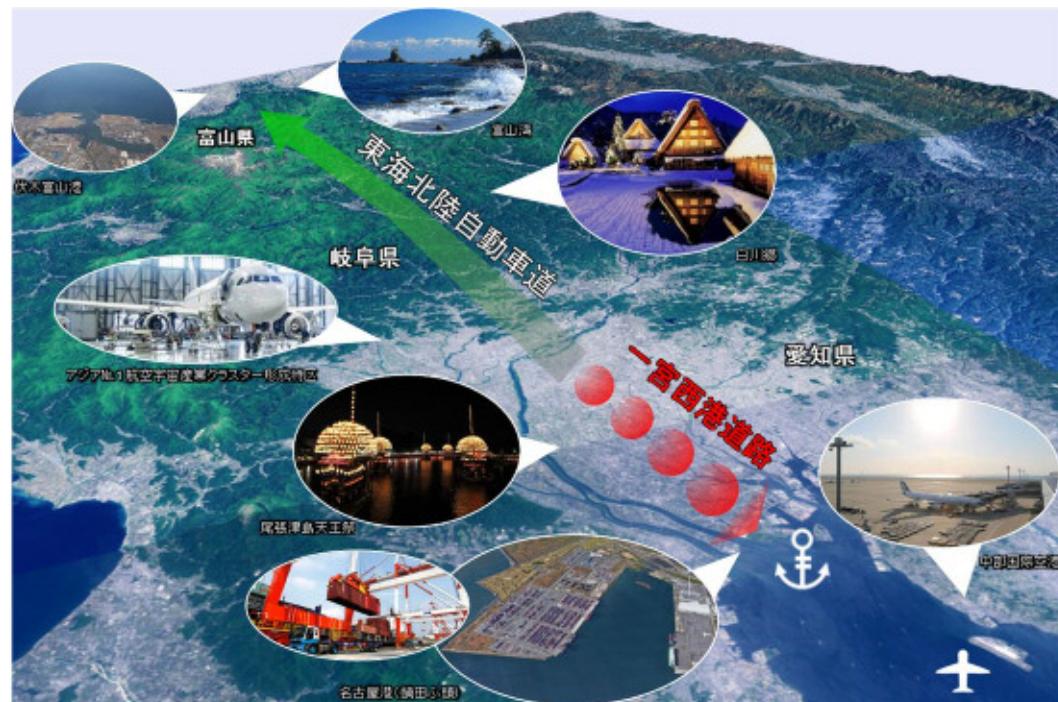


【東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会 名簿】

高規格道路 いちらみやにしこうどうろ **一宮西港道路**

早期実現に関する要望



令和3年12月

一宮西港道路の早期実現に関する要望について

中京圏は、基幹産業である自動車関連産業をはじめ、工作機械や航空宇宙など、日本一の産業集積を誇る産業圏域として、日本経済を支える中心的な存在です。

なかでも名古屋港は、総取扱貨物量、輸出額および貿易黒字額ともに約20年近く全国第1位が続く、我が国を代表する国際貿易港であります。コンテナ取扱拠点である飛島ふ頭と鍋田ふ頭において、東南アジア向けコンテナ貨物などに対応するため、飛島ふ頭地区のコンテナターミナルの整備など、国際物流拠点として機能強化の取り組みも着々と進められております。

名古屋港の北側に位置する尾張西部地域から岐阜県南部地域は、古くから栄える繊維産業をはじめ、次世代産業の柱として期待される航空宇宙産業まで幅広いモノづくり産業が集積していることに加え、名古屋駅にも近接していることから、リニア中央新幹線開業後の「リニアインパクト」による更なる発展が期待されている地域であります。

また、さらにその先の北陸圏は、経済成長が著しい東アジアとの貿易が活発であり、素材産業やライフサイエンス産業など中京圏とは異なった産業の強みを持つほか、日本海ならではの豊かな観光資源を有する地域であります。

今後は、産業連携をはじめ、観光地相互の結びつきを強めて昇龍道の魅力を高めるなど、幅広い分野において、中京圏と北陸圏の連携・交流を活性化し、環太平洋から環日本海につながる一大拠点の形成をめざしていくことが求められております。

こうした中、今年3月には東海北陸自動車道の新たな出入口となる一宮稻沢北ICが開通し、岐阜・北陸方面へのアクセス性が向上し、地域経済の発展が大きく期待されるところであります。

今後とも中京圏が日本の産業・経済を強力にリードしていくためには、空港・港湾などの物流拠点の強化のみならず、生産拠点や産業集積地間の定時性を確保する道路網の充実など、物流ネットワークの強化が必要であり、東海北陸自動車道の南伸となる高規格道路「一宮西港道路」の整備は大変重要となります。

本道路は、愛知県のみならず岐阜県方面からの名古屋港や中部国際空港へのアクセス性を高め、「航空宇宙産業等産業集積の強化」、「インバウンド観光の支援」などといったストック効果を発現させます。さらに、日本最大の海拔ゼロメートル地帯を

有し、大地震による津波、水害の被害が広範囲に渡ると予想される尾張西部地域にとって、広域避難や緊急輸送といった防災面でも非常に重要な道路「いのちの道」となります。

また、本道路の整備は、国土幹線道路ネットワークにおけるミッシングリンクを解消するとともに、日本のど真ん中において太平洋側と日本海側を結ぶ大動脈となる国土軸を形成し、中部圏全体の健全な発展と国土強靭化に寄与することは言うまでもありません。

国において、名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向か、名古屋都市圏環状機能強化の検討を実施していただいているところですが、私たちとしても、愛知県及び岐阜県内における整備を望む地域の声を集約し、本道路の必要性と整備効果の整理を進め、地域一体となって、早期実現に取り組んでまいります。

つきまして、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 本道路を含めた災害に強い道路ネットワークを構築するため、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策について、必要となる予算・財源を別枠で、かつできる限り当初予算で確保し、計画的な事業執行が可能となる柔軟な措置を講じること。
2. 名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向か、名古屋都市圏環状機能強化の検討を進め、新広域道路交通計画の高規格道路に位置付けられた一宮西港道路を重要物流道路へ指定したうえで、早期実現を図ること。

令和3年12月

東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会

会長 愛知県知事 大村 秀章

名古屋商工会議所会頭 山本 亜士

一般社団法人中部経済連合会会长 水野 明久